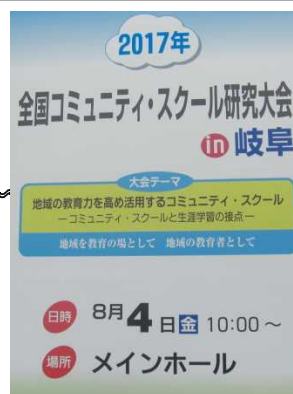




コミュニティ・スクール研究大会で学んできたこと

8月4日（金）、「2017全国コミュニティ・スクール研究大会in岐阜」が開かれ、中学校校長が参加し、コミュニティ・スクールについて勉強してきました。講演やパネル・ディスカッションで話題になった持続可能なコミュニティ・スクールを構築するためのポイントについて紹介します。



①全ての教職員、学校運営協議会委員が子供たちへの教育の**当事者意識**と参画者として意識を確かにをもつこと。

②小・中学生に**地域の一員であるという自覚**や**地域に貢献しているという自己有用感**をもたせるためのツールがコミュニティ・スク

ールである。コミュニティ・スクールは目的ではなく教育の手段である。（15歳までに地域で活躍した経験のある子は一時的に故郷を離れても戻ってくる）

③学校と地域が**共通の目標・ベクトル**をもち、活動していくことが大切である。

④地域の方や保護者同士のつながりが高いことと、児童・生徒の学力や主体性、規範意識等の高いこととの間には相関関係がある。



夏季小中合同研修会を開催

8月22日（水）、毎年恒例の小中学校合同研修会を下記のとおり開催しました。（夏は中学校、冬は小学校が担当となっています。）

- ・講師：秋田県小坂町立小坂小・中学校 校長 和田 渉 先生
- ・テーマ：「地域と協働し、児童生徒を育てる小中連携・一貫教育はどうあればよいか」（石川小・中学校の「教育自立圏」調査研究テーマ）
- ・講義のポイント



- 「アカシアのある学習」（＝小坂スタンダード）という問題解決的学習・見通しと振り返りのある学習スタイルに基づき、このスタイルを小・中で共通実践している。
- 学年段階の目指す子ども像と活動を設定している。
- 小中一貫教育もCSも手段であること。目的は子どもを育てること（ふるさとに貢献できる人づくり）であり、常に目的をチェックすること。地域とのつながりを深め、小・中教職員のチーム力を高めることも大切。

第2回学校運営連絡協議会

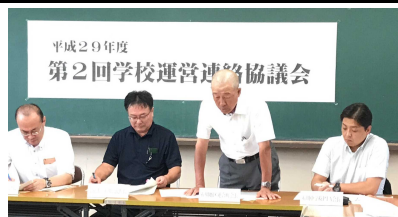
9月7日（木）、今年度2回目の開催です。内容をかいつまんでお知らせします。

①地域コーディネーターの紹介

中；小田桐智恵さん・兼平隆悦さん（石川公民館勤務）

小；須藤真希さん（石川公民館勤務）・谷川富士子さん（ハローワーク勤務）

コーディネーターの皆様にはこれから、学校と地域を結ぶパイプ役としての活躍をお願いします。



②学校応援団募集状況の報告→登録が進んでいますが、まだまだ募集しています。



石川小・中学校を応援してくれる方を募集しています！



小学校

- ア 1年生に昔の遊びを1年生に教え、1年生と一緒に遊んでくれる方。
- イ 2年生に町探検で付き添ってくれる、またはチェックポイントに立ってくれる方。
- ウ 3年生にりんごについて教えてくれる方。
（教室でのりんご栽培についての学習、りんごを使った料理指導等）
- エ 4年生にねぶたの歴史や由来、ねぶた囃子等を教えてくれる方。
- オ 5年生に弘前・石川の歴史（できごと、人物、城址、石碑、神社等）に詳しい方。
- カ 6年生にご自分の職業（内容、やりがい、楽しさ、苦勞）についてお話ししてくれる方。
- キ 図書室の本の整備をしてくれる方。
- ク 子どもたちに本の読み聞かせなどをしてくれる方。
- ケ 畑の畝づくりのボランティアをしてくれる方。
- コ 野菜づくりについて教えてくれる方。（野菜の苗の植え付け、育て方）
- サ インターネット検索、情報モラルの指導をしてくれる方。



中学校

- ① 運動部のコーチ又は見守り。（野球、陸上、卓球）
- ② 行事の記録写真を撮影。
- ③ 卒業式・赤十字の集い等での駐車場整理。
- ④ 卒業式・赤十字の集い等での接待。
- ⑤ 石中祭スポーツフェスティバルでの会場設営・競技の運営。
- ⑥ 市街職場体験学習での電車利用時の駅での確認。
- ⑦ 「BIBIっとスペース」での見守り。
- ⑧ 技術科（栽培の授業）で使う畑の畝づくりの支援。
- ⑨ 技術科（栽培の授業）の野菜づくりの指導。
- ⑩ 家庭科調理実習の補助。
- ⑪ 地域職場体験学習の受け入れをしてくれる事業所等。
- ⑫ 学校施設の清掃。
- ⑬ 花壇整備。
- ⑭ 図書室の本の整備。

※「11/4」赤十字の集い」では、少しでも謝金を出すことができます。

※の「BIBIっとスペース」は、年間10回、水曜日の放課後、将来教師を目指す大学生（3名）が石川中学校の図書室を会場に、希望する生徒に無料で学習のサポートをしてくれる弘前市教育委員会生涯学習課による「放課後子ども教室事業」です。

小・中学校共通

- A 朝の登校時、交差点等で児童生徒の見守り。

③施設一体型校舎建設に係る要望書提出について報告→6/27に石川地区町会連合会長小田桐久氏が教育長に提出。よい感触はありました。

④教育自立圏に係る中学校区の愛称について検討→小中三役会では「石川あじさい学園」となりましたが、「いしかわ学園」という意見が多かったです。

⑤「全国コミュニティ・スクール研究大会in岐阜」の報告（前掲；キーワードは当事者意識）



⑥地区中体連秋季大会結団式参観→選手を激励していただきました。

⑦コミュニティ・スクール研修会

- 1) 学校づくり推進課；千葉主事
- 学校運営協議会の役割・運営



営と地域コーディネーターの役割

- 2) 青森中央学院大学教授；高橋 興氏

○コミュニティ・スクールの必要性と課題

○コミュニティ・スクールは学校を核とした地域づくりの契機である。石川地区の実情に合わせ、ふれずにじっくり取り組み、石川型CSを構築してほしい。社会教育との協働も大切である。

「小中一貫CSだより」と中学校通信は弘前市のHPにアップしています。「弘前市立石川中学校」で検索を。